

平成23年度 小水力発電検討部会

小水力発電検討部会において、高知小水力利用推進協議会（小水協）及び高知県公営企業局と連携し、県内での小水力発電の可能性について情報を共有し、事業化に向けた候補地の検討を行うとともに、資金調達や事業リスク等については、メガソーラー事業での検討資料等を活用し、情報共有を図った。

平成23年12月12日 10:00～12:30	第1回 協議内容 ・部会長の選任 ・検討部会の進め方及びスケジュールの確認 ・県内候補地に関する情報共有
	第1回 勉強会 「中国地方の小水力発電～その歴史と課題」 講師：イームル工業株式会社 顧問 沖武宏 氏
平成24年1月13日 10:00～12:00	第2回 協議内容 ・モデル地点の選定に関する意見交換 ・今後の検討課題の整理
平成24年2月10日 10:00～12:00	第3回 協議内容 ・これまでのまとめ ・次年度の取組み

平成23年度 小水力発電検討部会

<まとめ>

- ・公営企業局が実施している先行プロジェクトの候補地5地点及び市町村支援事業の候補地26地点のうち、施工性や事業化の可能性を基に絞り込んだ10地点と、小水協が地域から収集した情報を共有。
- ・公営企業局は発電事業としての地域の熱意(地域振興)、規模(採算性)、用途、施工性を重視して候補地を選定し、小水協は、地域の熱意(地域振興)、規模(採算性)を重視して候補地を選定している。
- ・上記を踏まえ、県内で小水力発電の成功事例を早期に実現することを共通目標として設定。
- ・事業化の可能性については、候補地は異なる発電規模ごとに複数抽出し、今後の詳細な検討過程での柔軟な対応が可能となるようにする。
- ・次年度以降で事業化の検討を進める候補地として1,000kW規模1地点、200～400kW規模2地点を選定。
- ・数kW程度及び用水路を利用したものについては、公営企業局の市町村支援事業や小水協の取組みを通じ、別途支援を継続する。

No.	略称・地点名	水系	施設種別	利用流量(m ³ /s)	有効落差(m)	発電電力賦存量(kW)	備考
A	三原村 芳井	下ノ加江川	砂防ダム (芳井堰)	2 m ³ /s 程度	5～11 m	200kW 程度	
B	土佐町 西石原	平石川	河川	4 m ³ /s 程度	35m 程度	1,000kW 程度	規模が大きいため高効率機器を導入すれば約1,300kWの規模も可能。
C	安丸 砂防	上葦生川	砂防ダム	3～4 m ³ /s	10m 程度	400 kW 程度	

今後、具体的な事業化に向けた取組みを進めるために、今年度選定した候補地点においての事業主体、資金調達、環境への配慮など事業モデルの詳細な検討を行うこととしているが、事業化に当たっては、地域の係わりが重要であるため、候補地において地域の中で核となる人材の発掘や、地元自治体との関係づくりに重点をおいて進めていく必要がある。